

第2回 京都「北山丸太」で建てる、フォーリーデザインコンペティション

主催 / 京都北山丸太連合会

共催 / 財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

後援 / 国土交通省 文化庁 林野庁 京都府 京都市 京北町 京都商工会議所

(財)京都市都市緑化協会 全国銘木連合会 (財)大学コンソーシアム京都

京滋インテリア協会

北山杉600年の歴史を新たに作る

若い世代の斬新なアイデアと情熱に期待しています。



京都北山丸太連合会 会長

中田公義

京都北山丸太連合会では、一昨年まで実施してきた「新用途事例コンクール」を引き継ぐ事業として、昨年「京都北山丸太で建てる、フォーリーデザインコンペティション」を開催いたしました。本年度は昨年に引き続き第2回を開催します。このコンペは、全国の学生から公募したfollyのデザインを実際に建築して、北山丸太の新しい魅力を広め、京都・北山林業の活性化と北山丸太の用途開発をすすめ、ひいては全国の森林資源の保全や京都の都心部における都市再生につなげることを目的としています。

本コンペでは、全国の建築やデザインを学ぶ学生に、京都の自然や町並み、歴史を実際に学んでいただく機会を提供することになります。こうした取組みに於いて、これからの建築を担う全国の若い建築家の卵（学生）に、大きな参加意義を感じていただき、さらにその成果を顕彰する大きなチャンスとなれば幸いです。

平成16年11月2日

京の銘木「北山丸太」約六百年の歴史と技術革新によって生まれ育ってきました。

京都市の北部、北山杉を育てる林業は室町時代にはじまり、江戸中期にはすでに現在のような人工林が形成され、美しい木肌の北山杉を産出する北山林業として全国に知られるようになりました。「北山丸太」は、茶室などの数寄屋造りには欠かせない室内装飾材です。

グランプリ作品は、京都市伏見区の「城南宮」の神苑に建築します。

緑豊かな建築現場は、歴史深い神社です。大河ドラマ「新撰組」の舞台にもなった由緒ある場所でもあります。この地に広がる広大な「神苑」の2カ所に課題の場所を設定。昨年とは趣が全く異なる新しいデザインを公募します。神苑と現代をどう融合させるのか・・・斬新で革新的なアイデアを提案してください。

「北山丸太」を自由に使って、新しい京都のプログラムを提案してください。

室内装飾材である「北山丸太」をあえて屋外に露出させることで、新しい使い方を拡げたいと考えています。茶室や数寄屋にとらわれない自由な発想とハイブリッドな素材の組み合わせで、「北山丸太」の魅力を発見、提案してください。意匠だけでなく、そこから生まれる物語や生き方までが課題です。

建てるデザインコンペ。建築を学ぶ学生が、1/1作品を実現するチャンスです。

このコンペは毎年開始し、各年のグランプリ作品を次々と建築する計画です。京都という都市環境に、フォーリーをどう配置するのか。毎年増え続けるフォーリーが、生活者にどんな影響を与えるのか。5年、10年後を視野に入れたプログラムが審査の対象となります。

両方の課題を提出することも可能です。

建設予定地 作品は、課題 または課題 のどちらかを指定して提案してください。

場所 / 京都市伏見区中島鳥羽離宮町7番地
 城南宮 075-623-0846
 課題 神苑内「平安の庭」東部分
 課題 神苑内「水石亭」南高台
 * いずれか一カ所に建設を予定



面積 / 10m²程度

棟数 / 1棟

設計の条件

【共通項目】

建築予定地の環境と法規に則り、子供から大人まで安全に使用できること。フォリーの色、形状、構造、素材等はいっさい制限しません。自由な観点から「応募者が考えるフォリー」を提案してください。最低限クリアすべき設計条件は、課題によって異なります。それぞれの課題に示された条件を遵守して設計してください。

1. 北山丸太を使用する（使用材の量や種類の多寡は問わないが、北山丸太が視認できること）
2. 屋根、もしくは屋根と同等の構造を設け、人が雨をしのげる空間を供する
3. フォリーは、礎石の上に設置すること（基礎工事で掘削、コンクリート打ち等は不可）
4. 上下水道、電気、調理器具等の設置は不可
5. 将来にわたり低廉で補修、あるいは再生が可能である
6. 最低1年以上の無補修使用が可能である（風雨や直射日光、温度湿度に耐えられる）
7. フォリー内に移動可能な家具や器具を設置しない（テーブル、椅子等は固定する）
8. 特別な設備を付加しない（音響、映像、流水等）

課題 神苑内「平安の庭」東部分の条件

1. 設置面積は、3m（間口）×3m（奥行き）×3m（高さ）以内
2. 床を貼ること（利用者の足が、直接地面に触れない）
3. 正面の池や植栽、石等の既存風景を意識し、使用者が腰掛けられること

課題 神苑内「水石亭」南高台の条件

1. 設置面積は、4.5m×4m×3m（高さ）程度。（縦横比率は自由。現地の地形に合わせる）
2. 周囲の植栽は、枝も含めて伐採しない



提出する作品は下記の3点です。

パネル

B1サイズ 1,030 × 728mm <縦使い>、スチレンボード7mm厚貼り、フレームは付けない
パネルに表現する内容

- 1) 作品名
- 2) 外観パース (CG可)
- 3) 企画主旨 (800字以内、日本語)
- 4) 平面図 / 立面図 / 断面図 (各1面以上、縮尺はすべて1/30とする)

模 型

縮尺：**1/20**、総重量：**5kg**以下、素材：自由

ただし輸送及び展示中に破損もしくは周辺に迷惑を及ぼす可能性があるると主催者が判断した場合は、受け取りを拒否することがあります。フォリー以外の周辺を模型にする場合でも下記のサイズ以内に収めてください。

模型の最大外寸 W 300 mm × D 300 mm × H 300 mm
(このサイズを超える作品は受け付けません)

作品カード

指定用紙をウェブサイトからダウンロードして使用してください。

作品カード3枚にもれなく記入する。

「パネル用」 パネルの裏面にしっかりと糊付け

「模型用」 模型台座の裏面にしっかりと糊付け

「審査展示用」 パネル、模型といっしょに提出する

*ダウンロードの方法、アプリケーションソフトやパソコン操作に関する質問はいっさい受け付けません。

賞 典

グランプリ(1作品) 賞金 **20万円**+ 副賞 北山丸太20万円分+ 城南宮に作品を建築

国土交通大臣賞(1作品) 記念品(他の賞典と重複する場合があります)

優秀賞(2作品) 賞金 3万円

佳作(若干名) 記念品

応募資格 **学 生** *学校の種別、学部、学年、年齢、国籍は問いません。

出品料 **無 料** *作品搬入、搬出、登録手続きにかかる費用は応募者負担とします。

【応募にあたっての確認留意事項】

作品の返却 / 原則不可 (必要な場合は、主催者指定の日時と場所で引き取るか、あるいは梱包送料受取人払いによる有料返送とする。返却希望者は、作品提出時に返却方法も含めて書面 で申し出ること。)

著作権 / 原則として応募者。建築に際して、安全性や各種法規、環境に配慮するために必要となるデザインや素材、工法の変更は主催者の判断によるものとし、著作者はそれに従う。

作品の公開 / 当該コンペの広報物 (印刷、ウェブ等) や主催者である京都北山丸太連合会の広告宣伝媒体への使用は自由とし、使用料や著作権は発生しない。

他権利の侵害 / 応募作品の諸権利については、応募者が全責を負う。万が一、他への権利侵害などが発生した場合は、応募者自身において処理するものとし、主催者はなんら責を負わない。

城南宮にふさわしいフォリー

かつて、欧州貴族のあいだで、庭園に噴水などの水を引き込んだ小さな小屋を造り、羽目はずして楽しむことが流行りました。やがて時代とともに水を使う機能は廃れ、建物だけが残りしました。その建物は、特別な意味や用途を持たないという意味を込めてフォリーと呼ばれ、その後は公園などに設置されるようになりました。Follyとは本来の意味は「馬鹿げた」「愚かでムダな」という言葉ですが、今回のフォリーは、「特定の機能をもたない建物」とか「人が入ることのできる彫刻」などの意味を込めて使っています。日本では、数寄屋建築の「東屋」として理解されることが多いようですが、今回のコンペでは、そうした既成イメージに固執することなく、新しくユニークな視点と発想を期待しています。

建築地は、「曲水の宴」で知られる城南宮の神苑を予定。応募者の自由な発想で、景観や歴史的な意味を考慮した作品を求めます。

フォリーの名が一般に知られるようになったのは、1989年に仏国パリのラ・ヴィレット公園のコンペで、建築家バーナード・チュミが提案したプランがきっかけでした。同氏は、広大な公園全体を覆うグリッドの交差点に小さな建築物（フォリー）を配置。公園内の小建築物としてさまざまに利用されています。

審査委員長



若林広幸

建築家

京都生まれ。プロダクトデザイナーを経験の後、独立。独学で建築を学ぶ。1982年に若林広幸建築研究所設立。1994年、南海特急「rapid」をデザインし話題となる。京の新しい町家づくりにも積極的に取り組む。主な作品／老人ホーム ライフ・イン京都（1986）、西利本社ビル（1990）、ヒューマックス・パビリオン・渋谷（1992）など。第9回京都府文化奨励賞、日本文化フォーラム・日本文化デザイン賞、ブルーリボン賞 他多数

特別審査委員



井上章一

国際日本文化研究センター教授

京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。京都大学人文科学研究所助手を経て国際日本文化研究センター助教授（現職）就任。建築史・意匠論が専門だが、風俗や意匠など目に見えるものを通じて近代日本文化史の再構成を研究する。著書、論文多数。新聞、雑誌、テレビなど様々なメディアでユニークな視点、論点を展開中。今回のコンペでは氏のフォリーの解釈に期待が集まる。

審査委員 鳥羽重宏（城南宮宮司）

〃 武内富久子（京滋インテリア協会理事長）

〃 奥 美里（財団法人 京都市景観・まちづくりセンター 事務局次長）

〃 中田公義（京都北山丸太連合会会長） 敬称略

ウェブサイトへアクセス

<http://www.compe-kyoto.org/folly/>

- ・公募資料をダウンロード
資料をよく読んで、応募資格や条件などを確認してください。

オンライン登録 1月15日締切り

<http://www.compe-kyoto.org/folly/>

- ・フォームに従って必要事項を入力
事前登録が必要です。必ずオンライン登録してください。郵便、FAXでは登録できません。

説明会に参加しよう

- ・本物の北山丸太に触れたり、建築現場をチェックしたり。審査委員長の話も聞けるチャンスです。

北山丸太の説明、作品づくりのポイント、第1回作品の紹介など、コンペに参加する学生さんにぜひ参加していただきたい。(任意参加)12月19日分のみ、事前に参加予約が必要です。

平成16年 **11月28日**(日)
時間：午後2時～4時
場所：京都「ひと・まち交流館 京都」

〃 **12月18日**(土)
時間：午後2時～4時
場所：城南宮 齋館、建築予定地

〃 **12月19日**(日) 要予約!
時間：午後2時～4時
場所：京都市北区中川
北山杉の現地、加工場他周辺

平成17年 **1月15日**(土)
時間：午後2時～4時
場所：京都「ひと・まち交流館 京都」



12月19日(日)の説明会は予約が必要です。現地集合、現地解散となります。JR京都駅からバスで約1時間。屋外での行動が中心となります。動きやすい防寒対策を施した服装と雨具は必ずご用意ください。参加は無料ですが、昼食などは各自でご準備ください。予約は、前日までに事務局までお電話で。 電話 / 0771-52-0490 フォリーコンペ事務局 高林まで

アクセス情報はインターネットで -----

*城南宮 <http://www.jonangu.com>

*ひと・まち交流館 京都 <http://www.hitomachi-kyoto.jp>

*京都市景観・まちづくりセンター <http://machi.hitomachi-kyoto.jp>

作品提出 「輸送」「持込み」いずれも同じです。

平成17年 **2月19日**(土) 午前**10時30分**～午後**4時** *時間厳守

持込み(送付先)場所 / 城南宮「齋館」 フォリーデザインコンペ実行委員会
〒612-8459 京都府京都市伏見区中島鳥羽離宮町7番地 電話 075-623-0846

受付場所は上記の説明会会場と同じです。上記地図をご参照ください。

混雑が予想されます。上記時間内に受付が完了するよう、時間に余裕を持ってご来場ください。

トラック便等の輸送搬入には、上記日時に到着するよう、必ず「配達日時指定便」を利用してください。

選考会 平成17年 **2月20日**(日)

審査委員によって全作品が厳正に審査されます。

表彰式 平成17年 **2月27日**(日)

時間：午後**1時**～午後**2時**

会場：城南宮「齋館」2階

展覧会 平成17年 **2月21日**(月)～**27日**(日)

午前**9時30分**～午後**4時**

会場：城南宮「齋館」1階

*受賞者には、審査会当日中に電話とメールでご連絡いたします。
*審査結果のお問い合わせには対応できません。あらかじめご了承ください。